

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月9日

【四半期会計期間】 第90期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

【会社名】 アイシン精機株式会社

【英訳名】 AISIN SEIKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 藤森 文雄

【本店の所在の場所】 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)24 8265番

【事務連絡者氏名】 経理部長 朝倉 克己

【最寄りの連絡場所】 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)24 8265番

【事務連絡者氏名】 経理部長 朝倉 克己

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第1四半期 連結累計期間	第90期 第1四半期 連結累計期間	第89期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (百万円)	457,060	655,587	2,304,168
経常利益 又は経常損失() (百万円)	1,471	48,211	129,140
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (百万円)	615	24,179	55,497
四半期包括利益 又は包括利益 (百万円)	8,199	37,913	76,039
純資産額 (百万円)	913,351	995,616	969,307
総資産額 (百万円)	1,939,889	2,094,804	2,073,836
1株当たり四半期 (当期)純利益 又は1株当たり四半期 純損失() (円)	2.19	85.80	197.04
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)		85.78	197.00
自己資本比率 (%)	35.4	35.5	35.0

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていません。
- 3 第89期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の自動車業界における状況は、世界市場全体では新興国での販売拡大や米国市場が引き続き高い販売水準で推移したことなどにより、緩やかに拡大しました。国内においてはエコカー補助金が販売を下支えした一方で、歴史的な円高水準の継続など、当企業グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いています。

また、中長期的な視点に立てば、新興国の躍進を背景とした世界市場の様変わりや持続可能な社会の実現に向けた社会ニーズの変化など、企業経営は大きな変革点を迎えています。そうした状況を踏まえ、将来に向けて揺るぎない成長をはかるため、社会環境変化やお客様のニーズを先取りした新商品の開発と拡販、ならびにグローバルでの事業基盤整備に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の売上高については、前年同四半期の東日本大震災の影響による生産調整や、当四半期のタイにおける洪水からの挽回生産などの結果、国内外の得意先カーメーカーの生産台数が大幅に増加したことにより、前年同四半期（4,570億円）に比べ43.4%増の6,555億円となりました。

利益については、売上高の増加に加え、企業体質改善活動の成果などにより、営業利益は455億円（前年同四半期営業損失48億円）、経常利益は482億円（前年同四半期経常損失14億円）、四半期純利益は241億円（前年同四半期純損失6億円）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりです。

アイシン精機グループ

売上高については、前年同四半期（2,109億円）に比べ45.7%増の3,073億円となりました。利益については、172億円の営業利益（前年同四半期営業損失50億円）となりました。

アイシン高丘グループ

売上高については、前年同四半期（439億円）に比べ23.3%増の542億円となりました。営業利益は前年同四半期（5億円）に比べ大幅に増加し、23億円となりました。

アイシン・エイ・ダブリュグループ

売上高については、前年同四半期（1,751億円）に比べ45.8%増の2,554億円となりました。営業利益は前年同四半期（1億円）に比べ大幅に増加し、196億円となりました。

アドヴィックスグループ

売上高については、前年同四半期（782億円）に比べ46.3%増の1,144億円となりました。利益については、38億円の営業利益（前年同四半期営業損失2億円）となりました。

その他

売上高については、前年同四半期（331億円）に比べ41.7%増の469億円となりました。利益については、21億円の営業利益（前年同四半期営業損失6億円）となりました。

(2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当企業グループの研究開発費は、総額323億円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当企業グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	700,000,000
計	700,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月9日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	294,674,634	294,674,634	東京・名古屋各証券取引所市場 第一部	単元株式数 100株
計	294,674,634	294,674,634		

(注) 提出日現在の発行数には、平成24年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		294,674		45,049		62,926

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,853,500		
	(相互保有株式) 普通株式 95,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 281,583,600	2,815,836	
単元未満株式	普通株式 142,534		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	294,674,634		
総株主の議決権		2,815,836	

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) アイシン精機(株)	愛知県刈谷市朝日町2丁目 1番地	12,853,500		12,853,500	4.36
(相互保有株式) 豊明木工(株)	愛知県刈谷市野田町場割8 丁目1番地	95,000		95,000	0.03
計		12,948,500		12,948,500	4.39

(注) 当社所有の自己株式は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく取締役会決議による自己株式の取得、会社法第163条の規定に基づく子会社からの自己株式の取得および単元未満株式の買取請求によるものです。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）および当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	242,650	196,856
受取手形及び売掛金	370,443	366,167
有価証券	127,789	207,885
商品及び製品	81,794	75,904
仕掛品	41,145	43,402
原材料及び貯蔵品	42,211	43,059
その他	106,231	108,205
貸倒引当金	699	712
流動資産合計	1,011,566	1,040,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	235,339	234,496
機械装置及び運搬具（純額）	275,128	284,454
工具、器具及び備品（純額）	28,779	29,361
土地	114,463	114,977
リース資産（純額）	1,011	976
建設仮勘定	40,412	41,107
有形固定資産合計	695,135	705,373
無形固定資産	16,939	18,988
投資その他の資産		
投資有価証券	278,055	258,995
その他	72,525	71,053
貸倒引当金	386	375
投資その他の資産合計	350,194	329,672
固定資産合計	1,062,269	1,054,035
資産合計	2,073,836	2,094,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	345,277	334,862
短期借入金	56,628	70,436
引当金	20,858	19,571
その他	255,540	264,179
流動負債合計	678,305	689,049
固定負債		
社債	70,212	70,188
長期借入金	228,967	214,967
退職給付引当金	96,934	98,547
その他の引当金	5,816	5,122
その他	24,292	21,312
固定負債合計	426,223	410,138
負債合計	1,104,528	1,099,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,049	45,049
資本剰余金	59,160	59,171
利益剰余金	644,612	661,746
自己株式	20,237	20,207
株主資本合計	728,584	745,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,601	48,768
繰延ヘッジ損益	1,407	1,446
為替換算調整勘定	60,471	49,283
その他の包括利益累計額合計	3,277	1,961
新株予約権	2,563	2,772
少数株主持分	241,436	249,044
純資産合計	969,307	995,616
負債純資産合計	2,073,836	2,094,804

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	457,060	655,587
売上原価	419,446	561,710
売上総利益	37,613	93,877
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	13,182	13,796
その他	29,234	34,483
販売費及び一般管理費合計	42,416	48,280
営業利益又は営業損失()	4,803	45,597
営業外収益		
受取利息	401	450
受取配当金	1,608	1,699
持分法による投資利益	1,573	1,588
その他	3,505	3,504
営業外収益合計	7,090	7,243
営業外費用		
支払利息	1,393	1,318
為替差損	433	1,293
その他	1,931	2,016
営業外費用合計	3,758	4,628
経常利益又は経常損失()	1,471	48,211
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	1,471	48,211
法人税等	1,474	14,778
少数株主損益調整前四半期純利益	2	33,433
少数株主利益	618	9,253
四半期純利益又は四半期純損失()	615	24,179

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2	33,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	649	9,907
繰延ヘッジ損益	42	45
為替換算調整勘定	7,745	13,809
持分法適用会社に対する持分相当額	155	623
その他の包括利益合計	8,196	4,480
四半期包括利益	8,199	37,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,997	25,495
少数株主に係る四半期包括利益	2,201	12,417

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

減価償却方法の変更

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これにより損益に与える影響は軽微です。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	31,157百万円	31,773百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月21日 定時株主総会	普通株式	7,036	25	平成23年3月31日	平成23年6月22日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成23年4月1日 残高 (百万円)	45,049	58,836	603,195	20,784	686,296
四半期連結累計期間中の変動額					
剰余金の配当			7,036		7,036
四半期純損失()			615		615
自己株式の取得				1	1
自己株式の処分			5	25	30
四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)		5	7,652	23	7,623
平成23年6月30日 残高 (百万円)	45,049	58,841	595,543	20,761	678,673

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月19日 定時株主総会	普通株式	7,045	25	平成24年3月31日	平成24年6月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成24年4月1日 残高 (百万円)	45,049	59,160	644,612	20,237	728,584
四半期連結累計期間中の変動額					
剰余金の配当			7,045		7,045
四半期純利益			24,179		24,179
自己株式の取得				0	0
自己株式の処分				18	29
持分法適用会社の除外に伴う 自己株式の減少				11	11
四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)		11	17,134	30	17,175
平成24年6月30日 残高 (百万円)	45,049	59,171	661,746	20,207	745,760

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アイシン精機 グループ	アイシン高丘 グループ	アイシン・ エイ・ダブリュ グループ	アドヴィックス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	163,557	27,562	169,447	73,173	433,741	23,319	457,060
セグメント間の 内部売上高	47,425	16,428	5,721	5,084	74,658	9,838	84,497
計	210,982	43,990	175,168	78,258	508,400	33,157	541,558
セグメント利益 又は損失()	5,007	547	177	212	4,495	687	5,182

(注)「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	4,495
「その他」の区分の損失()	687
セグメント間取引消去	407
その他の調整額	27
四半期連結損益計算書の営業損失()	4,803

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アイシン精機 グループ	アイシン高丘 グループ	アイシン・ エイ・ダブリュ グループ	アドヴィックス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	233,402	33,003	248,576	107,158	622,140	33,447	655,587
セグメント間の 内部売上高	73,985	21,223	6,843	7,298	109,351	13,529	122,880
計	307,387	54,226	255,419	114,457	731,491	46,976	778,468
セグメント利益	17,222	2,332	19,650	3,836	43,042	2,141	45,184

(注)「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	43,042
「その他」の区分の利益	2,141
セグメント間取引消去	324
その他の調整額	88
四半期連結損益計算書の営業利益	45,597

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益又は1 株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益 又は1 株当たり四半期純損失()	2円19銭	85円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益 又は四半期純損失()(百万円)	615	24,179
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失()(百万円)	615	24,179
普通株式の期中平均株式数(千株)	281,447	281,819
(2) 潜在株式調整後1 株当たり四半期純利益		85円78銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(千株)		51
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第1 四半期連結累計期間の潜在株式調整後1 株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1 株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 9日

アイシン精機株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 山本 房 弘
業務執行社員

指定社員 公認会計士 川原 光 爵
業務執行社員

指定社員 公認会計士 手塚 謙 二
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアイシン精機株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アイシン精機株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。